

2) 堆肥成分各項目の解説

C/N 比

堆肥に含まれている炭素と窒素の重量比をいう。有機物が土壤中で分解する際に窒素を放出しながら分解するか、取り込みながら分解するかの目安となる。

窒素

全窒素含量のこと。堆肥中の窒素は無機態窒素（アンモニア態窒素、硝酸態窒素）と有機態窒素である。

リン酸

3大肥料成分の1つ。肥料の中で最も成分単価が高いため、うまく活用することが肥料コスト低減につながる。

本県では暫定的ではあるがリン酸肥効率を100としている。（肥効率：化学肥料リン酸の効きを100とした場合の堆肥に含有するリン酸の効き）

カリ

3大肥料成分の1つ。

本県では暫定的ではあるがカリ肥効率を100としている。

石灰・ 苦土

特に鶏ふん堆肥（採卵鶏）では石灰含量が高く、施用にあつたては土壌の塩基飽和度に注意する必要がある。

無機態窒素

アンモニア態窒素、硝酸態窒素の合計量をいう。

この状態の窒素が植物に即利用される窒素となるが、堆肥では増減が起こる場合がある。

速効性窒素

夏期に施用後1か月までに効く窒素量を表示している。

おおむね基肥として利用可能な窒素と考えることができる。

緩効性窒素

夏期に施用後1か月以降3か月までの間に効く窒素量を表示している。

「後効きする窒素」と考えることができる。

水稻基肥窒素

入水直前に施用した場合に、基肥として効く窒素量を表示している。

水稻穂肥窒素

入水直前に施用した場合に、穂肥として効く窒素量を表示している。

A D可溶有機物（酸性デタージェント可溶有機物）

酸性デタージェント溶液（酸性洗剤）に溶解する有機物。

非繊維成分やヘミセルロースなど分解されやすい有機物のこと。

牛ふん堆肥と豚ふん堆肥の窒素効き方の仕分け基準として使う。

A D可溶窒素（酸性デタージェント可溶窒素）

酸性デタージェント溶液（酸性洗剤）に溶解する窒素。

無機態窒素とA D可溶有機物に含まれる有機態窒素の合計量。

牛ふん堆肥と豚ふん堆肥の速効性窒素 + 緩効性窒素の指標として使う。